

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	社会学研究科 社会学専攻 博士後期課程《一般》	2026年度 春季
英語		

[I]

《解答又は解答例》

- 問1 英国の中産階級は、20世紀後半に2倍以上に拡大した。この規模の変化で、労働者階級から中産階級への上昇移動が生じた。上昇移動してきた「新参者」層は、以前は労働者階級が好んだ趣味を持ち込み、中産階級文化の特性を高級志向から雑食志向 (omnivore) へと転じていった。
- 問2 多くの研究から、労働者階級の男性たちは変わっていないことが示唆されている。彼らは今でも、力強さや手作業の技能を必要とする男性的な仕事に自分が向いていると考えており、その仕事で家族を養う「稼ぎ手」としての役割を果たせると信じている。実際には多くがそうではないのだが、彼らが仕事や家庭でこうしたアイデンティティを発揮できない場合には、彼らは「野郎ども」と遊びに興じ、夜遊びで披露する虚勢が「現実の生活」と互いに納得させる。
- 問3 Skeggs が調査を行った、介護職への就職準備の継続教育カレッジに通っていた若い女性たちは、1970年代以降（政治家やメディアから）労働者階級が受けてきた軽蔑に敏感だった。労働者階級は、勤勉さと技能が称賛されるべき「地の塩」ではなく、必要な技能や職業資格をもたず、公営住宅や時には公的福祉に依存したが、適切な子育ての能力すら欠いていることは、彼らが育てた学業不振の子どもたちや非行青少年をみれば明らかだとされていた。彼女たちは、周囲からの尊敬される立場を求めており、労働者階級であることはスティグマとして経験されていた。彼女たちは「庶民的（下品）」と見られないように願い、結婚を通じて敬意を抱かれる女性としての地位を固めようとした。しかし言うまでもなく、こうした願望は、適齢期の男性の不足によって阻まれがちだった。（以下は含まなくても良い：その結果、結婚の延期や、女性にとって不満足な結婚からの離脱、人口再生産水準を下回る出生率、そしてひとり親の増加がもたらされた。）

《出題の意図》

英語による長文の論説を読み、論述式の設問に答えることを通じて、一部に不慣れな単語・文法があったとしても、論説の概要や趣旨を適切に理解し、その理解を日本語で適切に表す能力を測ることを意図した出題。

[II]

《解答又は解答例》

- 問1 年金生活者は、ネットを活用しない人たちよりも、満たされて楽しい生活を送ることができる。なぜなら、Facebook などの SNS を通じて昔の友人や遠くに住む孫の近況を知る

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	社会学研究科 社会学専攻	2026年度
英語	博士後期課程《一般》	春季

ことができるからである。また、Zoomを通して、礼拝や読書会、医者予約などに、実際に足を運ばなくても参加できる。さらには、お店を回らなくても、ネットで買い物ができるし、オンデマンドで様々なエンターテインメントを楽しむこともできるからである。

問2 年配者の携帯やタブレットは通常クレジットカードと接続されており、ネットを通じた詐欺の被害にあうリスクがある。

問3 インターネットは、孤独を紛らわせてくれるものであるが、現実世界の代替物として働くものでもある。例えば、ネットでの買い物は出かける手間を省いてくれるが、実際に買い物に行くことで生まれる社会や人々との関わりや交流の機会も奪ってしまうものである。(その結果、さらなる孤独を助長しかねない。)

問4 若者の熱狂的な流行を政策決定者が規制しようとするのは世の常であるが、流行が広く社会にいきわたることで、それに対するパニックは収まっていくものである。若者だけでなく、年配者にも広くスマートフォンやSNSの利用が浸透することで、その利用の賛否に対してより理性的な議論ができるはずであるから。

《出題の意図》

研究においては、専門書などを一語一句丁寧に読み取る英語力も必要であるが、情報や文献収集のために、文章の議論の大枠を抑えて、その大意を抑えることも重要である。本大門は、時事問題を扱った、やや難しい新聞記事を、辞書を使うことなく読み、その大意を抑えることができるか、基本的な英語読解力を問うものである。